

平成 27 年 5 月 16 日 クロナマコの種苗生産② ～幼生～

5月17日、無事生まれたナマコの赤ちゃん・・・その形は親とは全く異なる姿、しかも水中を気持ち良さそうに泳いでいます。この時期の赤ちゃんのことを「幼生」といいます。今回は、ナマコの幼生が親と同じ姿になるまでをお話しします。

生まれたばかりの幼生は、口も胃もなく、もちろんエサも食べません（写真1）。翌18日になると、消化管ができ、泳ぎながらエサである植物プランクトン（大きさ0.005mm）を食べ始め、日に日に成長していきます。生まれて約1週間後にはたくさんエサを食べるようになります（写真2）。そして10～14日後、突然変貌し（変態といいますが、写真3、4）、次第に親と同じ姿「稚ナマコ」になっていくのです。

写真を見ても分かる通り幼生の形が実におもしろい！！しかも形が変わるごとに名前がつけられています。これを機に幼生の名前を覚えて、ナマコ通になってみませんか？



写真1：生まれたばかりの幼生



写真2：アウリクラリア幼生

最大0.8mmにまで成長します。色がついている部分が胃。エサがたっぷり入っています。



写真3：ドリオラリア幼生

変態期中は体のつくりが大きく変化するため、エサを食べなくなります。

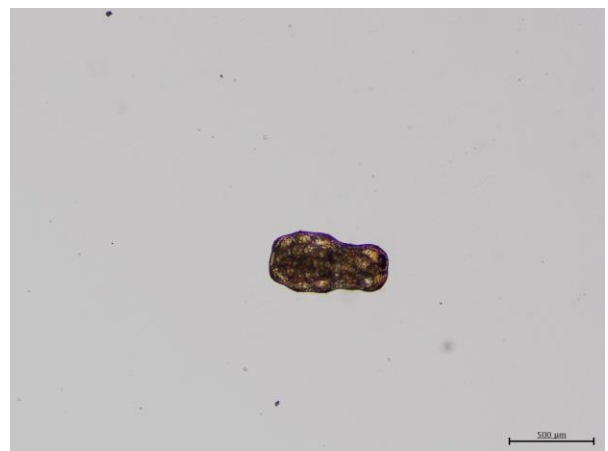


写真4：ペンタクチュラ幼生

変態期の最終形態。稚ナマコまであともう少し。